

令和3年7月27日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A 伊 豆 の 国
韮山営農センター

第4回 (7/27号)

水稻病虫害発生予察の結果について

本日は雨天の為、病虫害の調査は行えていません。生育状況のみの調査となります。

①生育状況

平坦地は、中干しに入っている圃場が見受けられます。大仁地区や長岡地区の穂の形成具合を確認した所、穂の生育は概ね昨年と同様になっております。8月中旬～下旬にかけて出穂する見込みです。浮橋や田原野地区では、穂が見え始めていました。

穂の形成は出穂の30日前から始まります。気温や天候による前後はありますが、例年の出穂の時期を参考に穂肥や除草剤の選択を行って下さい。

②病虫害状況

本日は病虫害の調査は出来ませんでした。他地区でもウンカ類の発生が増えている情報を聴いております。今後の発生動向に注意し、適期防除に心掛けて下さい。

穂肥 ※一発肥料 (ナイスワン、エココシ) を施用した方は穂肥の必要なし

○NK化成2号 (16-0-16) 2,080円/1袋 (20kg)

施用時期：出穂の20日前と10日前の計2回 施用量：10kg/10a (1回)

○IB4号 (15-4-15) 3,060円/1袋 (20kg)

施用時期：出穂20日前 1回 施用量：20kg/10a (1回)

○スタークル粒剤

使用量：3kg/10a 3,460円/1袋 (3kg)

時期：出穂後7～10日後

備考：カメムシ以外にもウンカ類やヨコバイ、ニカメイチュウ等の害虫にも効果あり。

③除草剤

○バサグラン粒剤 3～4kg/10a 3,400円/3kg

○バサグラン液剤 500～700ml/10a (70～100ℓ で散布) 2,080円/500ml

○クリンチャーバスME液剤

500～700ml/10a (70～100ℓ で散布) 1,730円/500ml

※2. 4-Dアミン塩について

使用時期は有効分けつ終止期～幼穂形成期前です。

幼穂形成に影響を与える為、これからの使用は控えて下さい。

問い合わせ：韮山営農センター 西島・田中 055-949-0055

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。